

保護者 様

名古屋市立栄生小学校長
佐 藤 明 子

令和6年度 学校評価について

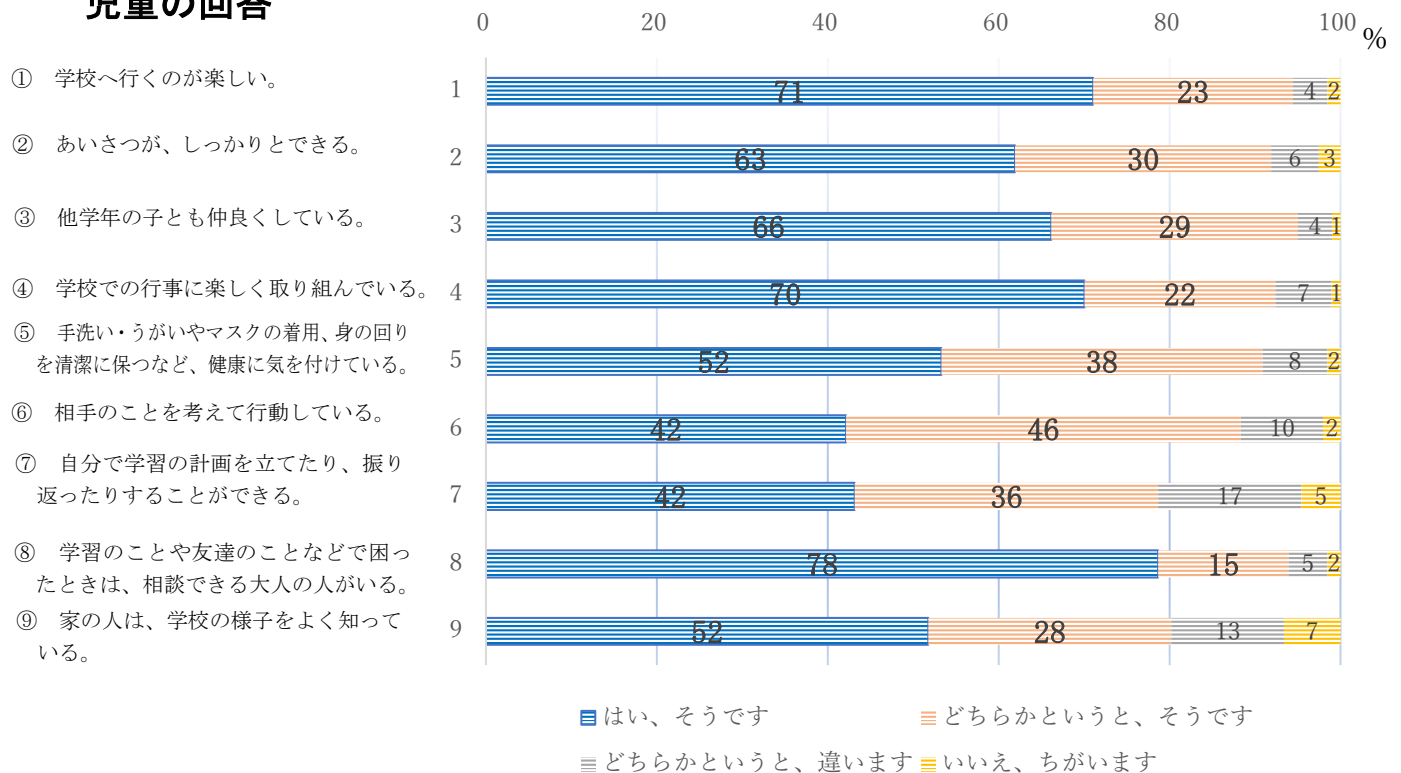
日頃は、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。1年間の本校の取り組みについて、「学校教育に関する質問」に回答いただきありがとうございました。

4月に示した学校グランドデザインの達成度を評価できるよう、職員自己評価・保護者への質問・児童への質問を実施し、その結果を集約し学校評議員・学校関係者の方々からご意見をいただきました。児童の「学習」や「生活」についての質問の結果、保護者から見たお子様の様子についての質問の結果、教職員から見た学校についての質問と結果を掲載いたしました。これからも、みなさんの意見に耳を傾けながら、児童が楽しく充実した学校生活を送ることができるように努力してまいります。

この評価結果を考慮し、来年度のグランドデザイン、学校運営方針を検討していきたいと考えています。今後も、本校教育にご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

児童への学校や生活についての質問

児童の回答



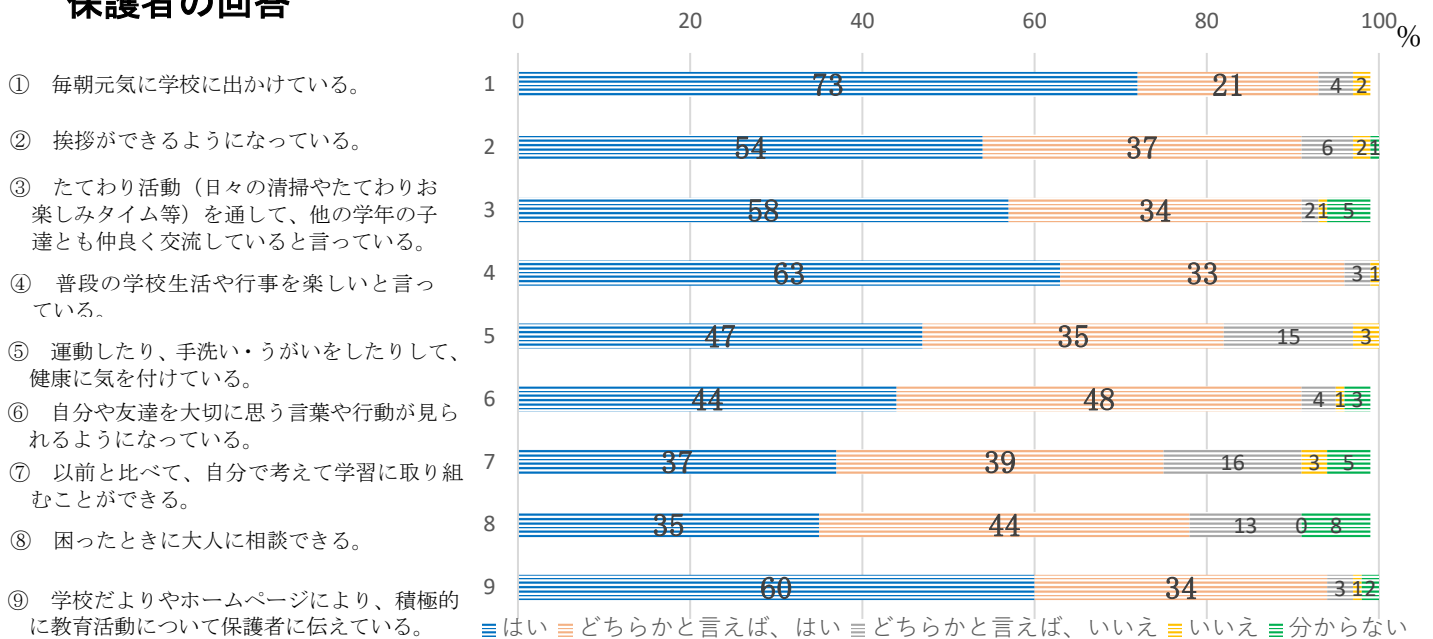
良かった点

④の学校行事に楽しんで取り組んでいる児童の割合が高かった。運動会で競争遊戯ではなく表現運動を行ったことで、練習時から意欲的に取り組めた児童が多かったようである。

課題と対策

質問②、相手のことを考えて行動している児童の割合がもっと増えると良い。そのために、人権教育で様々な立場の方とのふれ合いを行うことや、友達と関わり合いながら学ぶ活動を重視していきたい。

保護者の回答



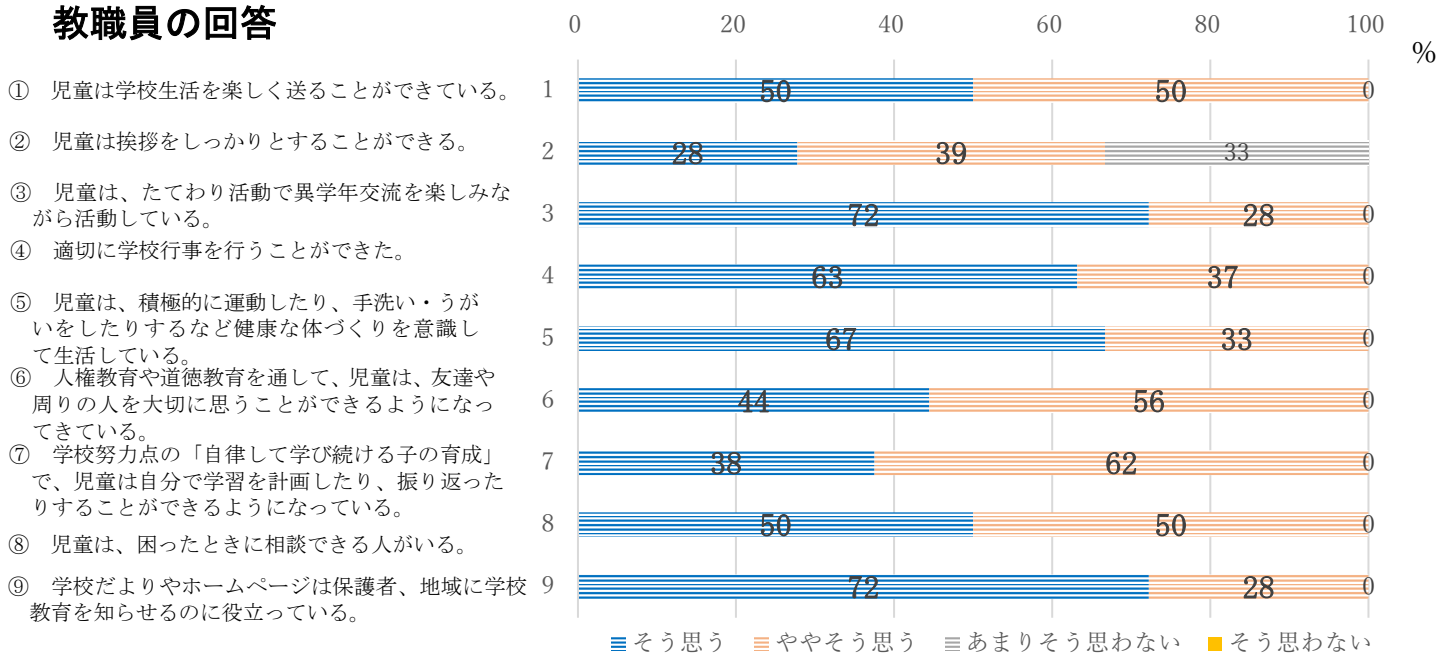
良かった点

④の普段の学校生活や行事を楽しんでいると答えた保護者の割合が多かった。限りある授業時間数の中で、できる限り児童が意欲的に取り組めるよう工夫している。

課題と対策

質問⑦の学校努力点の取り組みが、自分で考えて学習に取り組む力を育てることを目標として行っているが、来年度この力をさらに伸ばすことができるようにしていきたい。

教職員の回答



良かった点

⑤の健康的な体づくりを意識できている児童が多い。「栄生っ子すこやか週間」の取り組み等が良かった。今後は、体育集会を充実させ、児童がより運動に親しむことができるようにしていきたい。

課題と対策

②の挨拶が課題である。一人一人が挨拶をすることの大切さを感じることができるように、話をしていきたい。また、教職員・保護者ともに、大人がその見本となっていくことが大切だと考える。

学校評議員会では、「分からないときに、自分から聞く習慣が自由進度学習の取り組みの中で育ちつつある」「たてわり活動で異年齢の友達との関わりを大切にしていることが伝わってくる」という意見をいただきました。